

World Water Day Kids Summit 2011

世界水の日こども議会

毎年3月22日は、国連が全世界に定めた「世界水の日」です

March.19 sat. 20 sun. 2011 参加無料

@ 江ノ島「かながわ女性センター」「江ノ島ヨットハーバー」

- 小田急線片瀬江ノ島駅下車 徒歩15分 (〒251-0036 藤沢市江の島1-11-1)
- 江ノ島電鉄江ノ島駅、湘南モノレール湘南江の島駅下車 徒歩20分



インターネットで
生中継!

国連世界水の日2011テーマ

Water for Cities“Responding to the Urban Challenge”

「都市問題に対応する」都会の水

March.19 『葦舟教室』 9:00~17:00 雨天時の時間・場所変更など
詳細をイベントHPで公開

日本の川辺に古来から生息する水を
浄化する葦を使って葦舟を作ってみよう!

参加者
募集!

March.20 『フォーラム』 10:00~12:30

藤沢市長 **海老根 靖典**「都市化と日本発エコタウン藤沢構想案」

2012-13年度
国際ロータリー会
田中 作次「水環境保全活動への取り組み」

生物学者 **本川 達雄**「水と生物の絆」

この日の為に「水の日之歌」を作詞作曲して下さいました。みんなと一緒に歌いましょう!

水の民
ワイタハ族長老 **テ・ポロハウ・ルカ・テ・コラコ**

「古来より葦舟と共に生きてきた水の民からのメッセージ」

参加者
募集!

『世界水の日こども議会2011』 13:30~16:30

【テーマ】キレイな水と共に生きるわたしたちのドリームタウン

自分たちが住む未来の町を雑誌やパンフレットの切り抜きを使って実際に作ってみよう!

協賛・後援・協力

藤沢市・藤沢商工会議所・社団法人藤沢青年会議所・国際ロータリー-2780地区・国際ロータリー-2520地区
NPO法人湘南市民メディアネットワーク・NPO法人アカルプロジェクト

主催 / 世界水の日実行委員会

世界水の日こども議会公式HP / <http://www.wwd-japan.org> お問い合わせ / Email. info@wwd-japan.org

3月22日は国連が定めた「世界水の日」です

水の大切さと地球の美しい水を守るために

次世代を担う子どもたちと一緒に水について考えてみましょう



『世界水の日こども議会2011』とは？

こども議会は、子どもたちが持つ自由でユニークなアイデアを発信し、次世代を自らが創造していく意識を引き出します。社会を築く一員である子どもたちと共に学んでいきます。今回は国連のテーマに伴い、7つのグループに分かれた子どもたちへ、都市化と共に社会が抱えている水と環境の問題を投げかけ、彼らの意見を聞いていきます。そして、実際に雑誌やパンフレットを持ち合って画像を切り抜き、画用紙の上に「ドリームタウン」を創作し、最後にグループ毎に発表をします。

『葦舟教室』とは？

葦舟は文明が地球上で発達するにあたり、古代人が都市(urban)を築くうえで必要不可欠な交通輸送手段でした。原材料である葦は、1本で年間2トンもの水を浄化できる他に類を見ない優れた環境植物です。今年の国連のテーマにちなんで、人間が自然環境の中でどのように都市化を進めてきたか、葦舟をつくりながら楽しく学んでいきます。



葦舟イメージ



本川達雄 プロフィール

東京工業大学 大学院生命理工学研究科 生体システム専攻教授

1948年 仙台生まれ。東京大学理学部生物学科(動物学)卒、東京大学助手、琉球大学講師、琉球大学助教授、Duke大学 visiting associate professorを経て、1991年から東京工業大学教授。専門は生物学。棘皮(きょくひ)動物(ナマコ、ウニ、ヒトデ、ウミユリ)の硬さの変わる結合組織の研究や、サイズの生物学的研究をしている。科学とは自然の見方、つまり世界観を与えるものだという考えのもとに、生物学的世界観を分かりやすく説く著書を執筆している。「ゾウの時間ネズミの時間(中公新書)」「“長生き”が地球を減ぼす(阪急コミュニケーションズ)」「ウニ学(東海大学出版会)」他多数を出版。また、歌う生物学者としても知られており、CD「ゾウの時間ネズミの時間～歌う生物学～日本コロムビア」も発売。

・講談社出版文化賞科学出版賞(平成5年)・手島記念研究賞著述賞(平成5年)・東工大教育賞最優秀賞(平成17年)
・科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門(平成19年)



テ・ポロハウ・ルカ・テ・コラコ プロフィール

1943年大嵐の中、聖なる山Tokatoka(トカトカ)の洞窟で生まれる。4歳の頃にシャーマンである祖父母に連れられて洞窟へ行き、地中の中に埋められて行われる3日間の儀式を受ける。幼少の頃は、祖父母より伝統を受け継ぎシャーマンとして育てられ、青年期にはカンタベリー大学へ通う。卒業後、8年間大学で生物学・科学・伝統を教授する。ワイタハ族は、ニュージーランドにマオリ族が入ってくる以前から存在する部族で、4,000年以上続く伝統を持っている。長老は、ワイタハ族のWananga(伝統)を教える最後のTohunga, Kahuna(トフンガ・カフナ=シャーマン)の一人でもあり、伝統を伝える施設で、彼らの先祖の古代芸術やメディシン(薬草)、ヒーリング等の手法や思想を復興させ、それを教えている。長老の家系はルカ(イルカ)と関わりのある種族であり、古くからイルカやクジラと共に共存して水のセレモニーやヒーリングを行ってきた。また、長老の家系は龍と深く関わりがあり、龍のお世話する人と言われている。Whisper of Waitaha(ワイタハ族の囁き)とSong of Waitaha(ワイタハ族の詩)の2冊を共著し出版。現在、Secret of Waitaha(ワイタハ族の秘密)を執筆中。

参加者
募集!

UN WATER

WORLD WATER DAY 2011

「葦舟教室」と「こども議会」に参加してくれる子どもたちを募集しています。

大人も大歓迎！下記メールアドレスへ、
『お名前・住所・電話番号・年齢・保護者名』を
お送りください。詳しい案内をお知らせします。

お申込み先 / info@wwd-japan.org

※詳細は世界水の日こども議会公式HP / <http://www.wwd-japan.org> をご覧ください。

※当日インターネットライブ配信いたします。保護者の方の承諾の上お申し込み下さい。

